

あい 藍の生葉染めをしてみよう

生葉染めは、草丈が60cm程度になった頃から開花前まで行うことができます。



《材料と分量》

- ・染めたい布（シルクストール
または絹のハンカチなど）
※ 木綿や麻はあまりよく染まりません。
- ・新鮮な藍の生葉（布の重さの3倍以上）
- ・水（生葉の重さの10倍）

《使用する用具など》

- ・ミキサー
- ・こし袋（洗濯ネットなど）
- ・桶
- ・ゴム手袋
- ※ 他の用具でも代用できます。
- ※ 染液で着色されるためご注意ください。

1. 下準備

- ① 隅々まで染液が浸透するように、
染めたい布を水に浸けておく。
- ② 藍の葉を畑・鉢から取ってくる。

簡単



2. 染液をつくる

- ① 茎から葉を取り、葉を約3～4cm
の長さに切る。



- ② ミキサーの半分程度まで葉を入れ、
全体が浸かる程度に水を加え、
ジュース状になるまで攪拌する。

～模様のつけ方～

下準備で水に浸す前に、布のところどころを結んでおいたり、畳んで割りばしを挟んでおいたりすると、染料がつかない部分が染め抜かれます。結び目は染め終わるまではそのままにします。

次へ

2. 染液をつくる（つづき）

③ ミキサーの口にこし袋（洗濯ネットなど）を被せた状態で、濾しながら桶にいれる。

④ 2の②③を繰り返して、染液をつくる。（布が浸かる程度の量が必要です。）

※ 染液はつくってから40分くらいしか染まりません。



3. 染める

① 下準備で濡らしておいた布をしっかりと絞ってから、桶の中の染液に入れる。
※ 染液が足りず、布が浸からない場合は水を加えましょう。

② 10分程度浸した後、軽く絞り、空気にさらして酸化させることで、しだいに色が変化する。



簡単に
できた!

③ 3の①②を繰り返す。

染め終わったら、布を広げて、流水で水が透明になるまでよく洗う。

※ 染めを繰り返し過ぎると染めた布の色が濁ってしまいます。



本格的な藍染に興味のある方、サークル活動に興味のある方は下記までお問い合わせください。

◆篠路コミュニティセンター ☎011-771-3700

北区市民部地域振興課

☎011-757-2407